

地域計画策定に関わる目標地図等の作成について紹介します。

今回紹介する団体：水土里ネット愛媛

取組概要

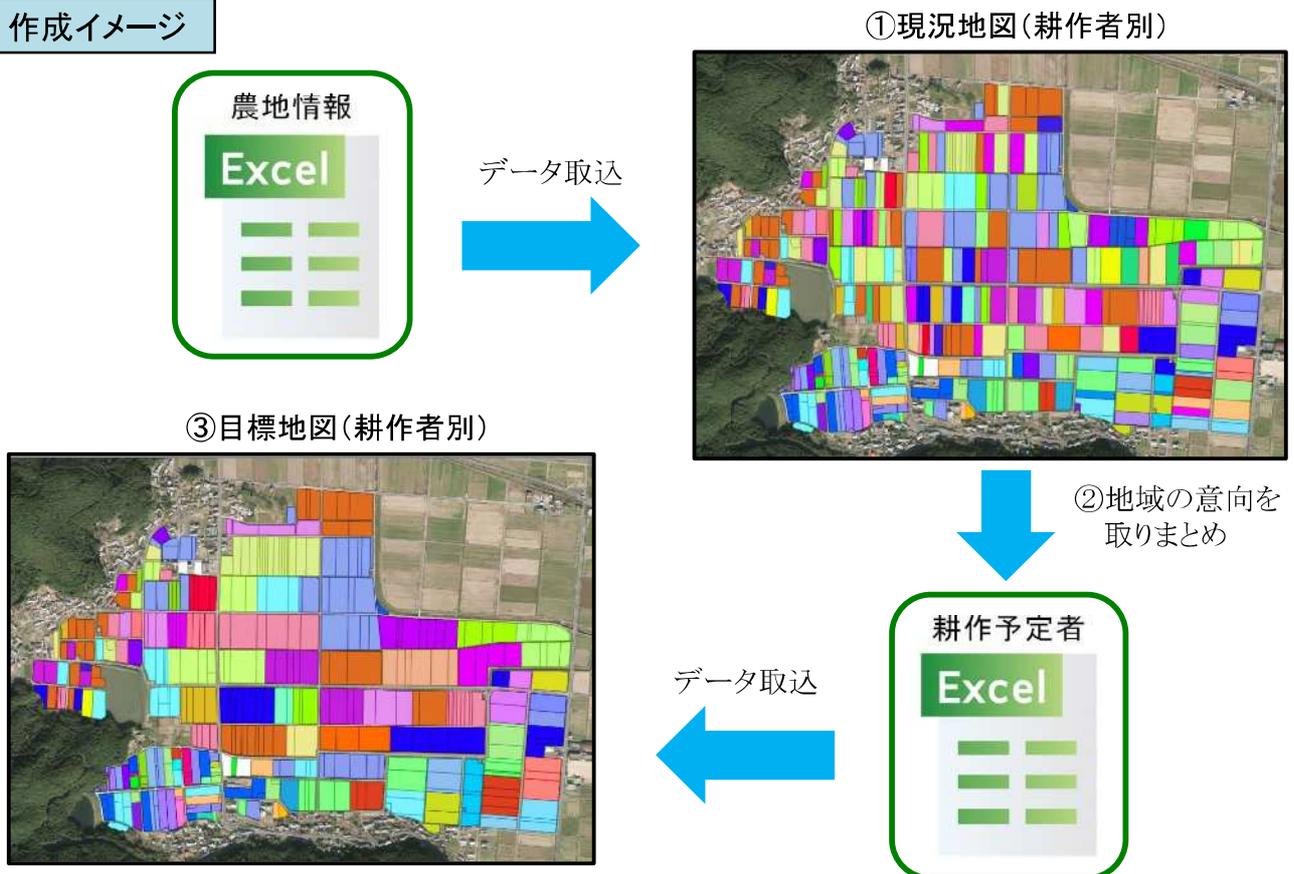
内容：地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の策定にあたり、地域の協議の場で必要な現況地図（耕作者ごとに色分けした図面等）や目標地図の作成に水土里情報システムを活用して効率化を図った。

経緯：農業経営基盤強化促進法の改正（令和5年4月施行）により、令和7年3月末までに地域計画の策定が法定化された。市町村よりこの計画策定に必要な目標地図等の作成に、水土里情報システムを活用できないか問い合わせがあった。これに対し当会では、農地情報のデータベースは市町村職員が使い慣れているExcelで作成し、このデータベースを水土里情報システムの農地筆ポリゴンに取り込み、現況地図や目標地図を作成した。

目標地図の作成手順は、以下のとおり。

- ①農地の利用状況、耕作者の継続意向、後継者の有無など様々な農地情報を可視化した現況地図を準備する。
- ②地域協議の場で、現況地図を用いて10年後の耕作予定者など、農地の集積・集約化に向けた地域の意向を取りまとめる。
- ③現況地図（耕作者別）に、10年後の耕作予定者を反映して目標地図を作成する。

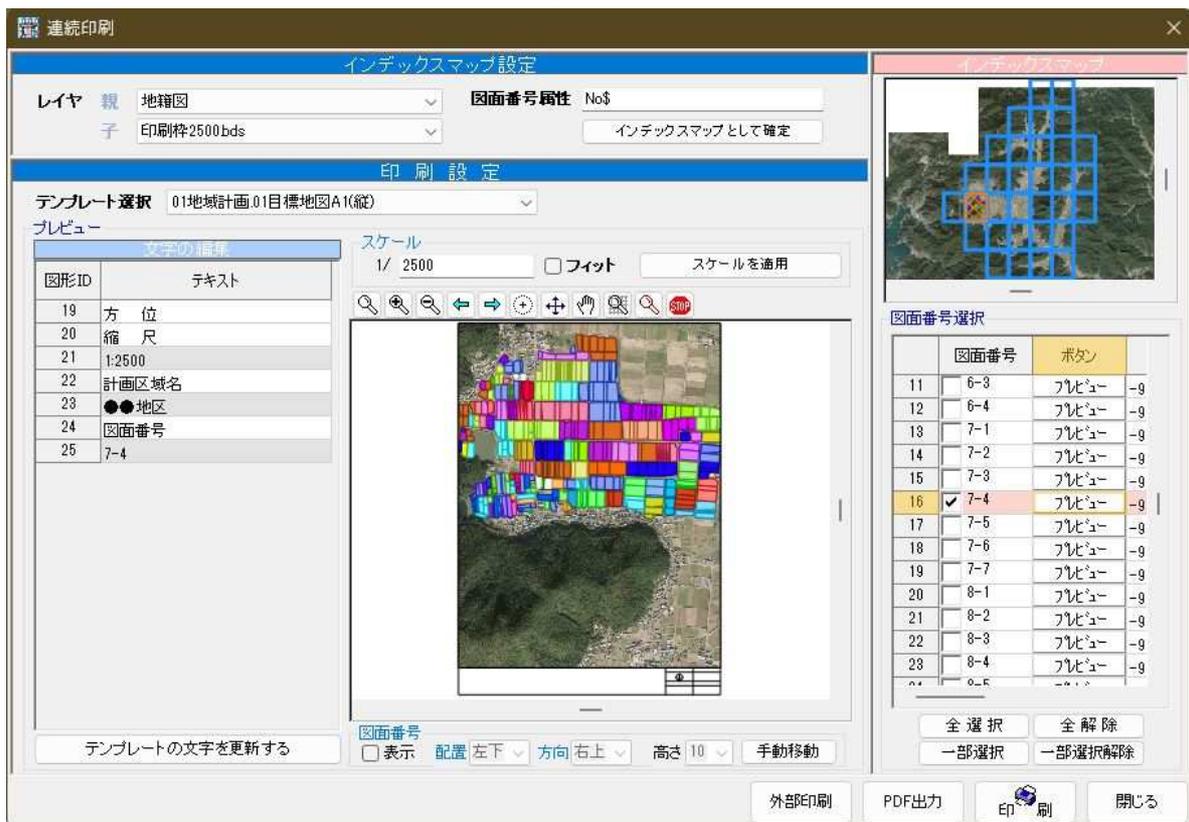
作成イメージ



取組による効果

- データベースは、市町村職員が使い慣れているExcelを使用することで、農地情報の統合作業を効率化できた。
- システムの主題図機能により、耕作者ごとの色分け作業を自動化できた。
- システムの連続印刷機能を用いることで、図面の印刷やPDF出力が自動化された。
- 従来手作業で目標地図の作成に、5つの地区で8日程度要していたが、今回の取組により概ね1日に短縮することができた。
- 計画策定後想定される様々な作業で、市町村職員の負担軽減が期待できる。

連続印刷機能



今後の活用予定

地域計画策定後のブラッシュアップを行い、地区における地域計画の実現を推進する。合意形成が十分でない地域への活用を推進していく予定。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : 水土里Maps9.0

GISエンジン : SIS9.0 SR4

■お問い合わせ先

愛媛県土地改良事業団体連合会 事業部 技術情報課

089-927-7511(直通)